

平成 26 年第 9 回加西市教育委員会会議録

1. 開会日時 平成 26 年 9 月 30 日 (火) 13 時 30 分
2. 閉会日時 同 日 15 時 10 分
3. 開催場所 加西市役所 5 階大会議室
4. 出席委員 委 員 長 内 藤 堯 雄
委 員 市 場 かおり
委 員 荒 木 貴 子
委 員 渡 邊 隆 信
教 育 長 松 本 直 行

5. 委員及び傍聴人を除き、会場に出席した者の氏名

教育次長	後 藤 倫 明
教育総務課長	中 倉 建 男
学校教育課長	柿 本 博 司
こども未来課長	伊 藤 勝
文化スポーツ課長	深 江 克 尚
図書館長	上 坂 寿 人
総合教育センター所長	安 富 均
教育総務課総務係長	伊 藤 陽 子

6. 付議事項

なし

7. 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

8. 質問及び討議の内容

なし

9. 議決事項

なし

10. 報告事項

(1) 教育長から

教育長より、9月の定例議会について概要を報告する。教育委員会関連の5議案は、すべて可決された。

1つ目の議案は「加西市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例」(議案第51号)、2つ目の議案は、「加西市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」(議案第52号)、3つ目の議案は、「加西市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例」(議案第53号)、4つ目の議案は、「加西市保育の必要性の認定に関する条例」(議案第54号)、5つ目の議案は、「加西市学童保育園の設置に関する条例の一部を改正する条例」(議案第55号)であった。

一般質問では、「児童生徒の安全対策」、「北条中学校の自転車通学」、「学校給食」、「(仮)泉幼児園」、「第二次世界大戦体験記『轍』の充実、再編集」、「がん教育」、「平成25年度教育委員会点検評価」、「加西における幼保のあり方」について等の質問があった。それぞれの質問については、取組の概要及び今後の方向性等を答弁した旨を報告する。

教育委員より、「第二次世界大戦体験記『轍』の充実、再編集」についての質問がある。教育長より、「轍」は、平成4年度、戦後50年近くが経ち、戦争の記憶が薄れいく中、戦争の悲惨さを後世に語り継ぐべく、38名の戦争体験者の方々の体験談等を編集・発行したものである。そして、本の題名は、「過去を振り返り、その反省を将来に生かし、『前輪の轍を踏まず』との思いを込めて『轍』と命名された」となっている。「轍」作成以後約20年、戦後70年近くが経過し、多くの戦争の語り部の方々がお亡くなりになる中、これまでの事業の継続が困難になってきていることから、昨年度は、6名の戦争体験者の方々を講師として招き、中央公民館で「戦争体験 語り継ぎ部養成講座」を3回にわたり開催した。今後は、本講座のフォローアップ並びに、更なる体験談の収集等とともに、「轍」の電子化も視野に、戦争の悲惨さ、平和の尊さを後世に語り継いで行くことに尽力する旨を説明した。

文化スポーツ課長より、編集当時は、生涯学習課が担当し公民館で対応していた。第1集600部、第2集は500部なので全戸配布は行っていない。公民館の関係と公共施設に配布しており現在では図書館にある。データを取り込みホームページ上で公開する計画である。中央公民館において、次世代に語り継ぐため語り継ぎ部の講座をひらき、語り継ぎ部の養成を行った。また、今後も資料等の収集精査を行うと説明する。

(2) 教育総務課長の報告

教育総務課長より、教育施設耐震化事業等進捗状況について報告する。

富田小学校南校舎地震改築工事は、既設北校舎の内部改修が済み、木造校舎の解体が完了している。現在は、新校舎の基礎工事にかかっている。九会小学校南校舎は内装工事が終わり部分引き渡しを行う準備をしている。善防中学校体育館耐震補強工事については、LED照明を設置しており床工事にかかっている。富合小学校北校舎耐震補強工事については、1階の部分の引き渡しを行い、2階は内装改修工事中である。北条東幼稚園整備工事は、増築部分の内装工事を行っている。

設計業務について、九会小学校北校舎、下里小学校北校舎、賀茂小学校校舎耐震補強工事設計と、西在田小学校地震改築工事設計委託業務は、すべて実施設計を行っている。善防公民館空調設備改修工事設計は、入札準備が進んでいる。宇仁小学校渡り廊下設置工事設計は終わっている。教育施設天井等非構造部材落下防止対策工事設計については、賀茂小学校体育館は天井材の撤去、4中学校の武道場は軽量天井化、その他の体育館は照明をLEDに変え落下防止器具に改修するものである。富合小学校プール塗装改修工事の下地調整は済んでいると説明する。

次に、教育委員会事務局職員の人事異動について、教育総務課長より、市参事兼こども未来課長の死去に伴い、9月16日付けで、こども未来課主幹が課長に異動したこと、また、職員の補充として10月1日付けで1名の異動があることを報告する。

(3) 学校教育課長の報告

学校教育課長より、児童生徒の学習・生活について報告する。2学期に向けて、小・中・特別支援学校は万全の準備を行い、良い形で2学期を始めている。9月13日には中学校で体育祭を、9月20日には富田小を除くすべての小学校において秋季運動会が予定通り開催された。それぞれの学校が目標達成のため児童生徒が主体的に取り組み、特色ある運動会・体育祭を行った。定例校長会において、運動会・体育祭の涼しい時期での開催について各校で再考してもらうように要請した。

特別支援学校において、9月19日午前中にわかばフェスティバルを開催し、児童生徒の家族をはじめ卒業生と地域の方に多く参加していただき、児童生徒が生き生きと活動し多くの方との交流ができ、充実したフェスティバルとなった。

2学期は小学校での修学旅行、小中学校では研究会、小学校では市音楽会等多様な行事を予定している。11月は、兵庫の教育推進月間でオープンスクールを開催し、保護者地域一体となっで行う行事を予定している。各学校では特色ある学校づくりを、この機会にさらに推進してもらいたい。

次に、市内小中学校における研究会の開催について説明する。10月16日の北条中学校の研究会を皮切りに11月12日まで、市内小中学校4校において開催する。北条中学校の研究会は、

北播磨地区中学校教育研究会数学科での指定である。10月27日の泉中学校、10月30日の北条東小学校、11月12日の宇仁小学校の3つの学校の研究会は市の指定である。泉中学校については道徳、北条東小学校については国語、宇仁小学校については算数の研究授業を行う予定であると報告する。

教育委員より、11月に行われる教育推進月間の様々な行事は、学校ごとで行うのか、また、平日の開催かとの質問がある。学校教育課長より、各学校で数日間に渡り、参観日・音楽会を設けて保護者・地域の方が参加できるようにしている。音楽会については土曜日の開催で、できるだけ多くの人に参加できるようにしていると回答する。

教育委員より、体育祭で保護者のマナーができていないと感じたとの意見が出る。学校教育課長より、学校によっては、子供からテントの撤収時期を伝えるなど工夫している。各学校でさらに改善を求めると回答する。

(4) こども未来課長の報告

こども未来課長より、幼稚園・保育所等の利用手続きについて、申請時期は11月を予定しており、詳しくは広報11月号でお伝えする。入園・入所の前に、認定が必要となった。1号認定は3歳以上で教育を、2号認定は3歳以上で保育を、3号認定は3歳未満で保育を希望される方である。入園・入所手続きと認定は同時に行う予定であり、現在入園・入所されている子供にも認定が必要となる。新たに幼稚園に入園を希望される方は幼稚園を通して、保育所を利用される方は直接こども未来課へ申し込んでいただく。11月から申し込み手続きを行うと説明する。

(5) 文化スポーツ課長の報告

文化スポーツ課長より、公民館まつり等の開催について説明する。公民館まつりは、市内4公民館で登録グループによる日ごろの学習成果の発表、地域との交流の場とし、すべての公民館で実施している。すでに、北部公民館はこの日曜日にステージを行った。南部公民館の「宮き野のつどい」では、女性落語家の露の団姫を招き、加西中学校の吹奏楽部も参加してもらい高齢者に楽しんでもらう。南部公民館は農業改善センターでもあるため、農産品のバザーも行う予定である。善防公民館では、昨年度から始まった子供将棋大会の監修をいただいている井上慶太九段により、将棋講座と指導対局を行っていただく。北部公民館では、展示と物まねの方による記念講演を行う。中央公民館では、北条小学校の協力を得て版画展を同時開催し、北条高校のイメージキャラクターの羅漢君に来ていただく予定であると報告する。

(6) 図書館長の報告

図書館長より、図書館まつりについて説明する。10月26日（日）に開催する。保存年限の過ぎた雑誌を皆様に無料還元する雑誌リサイクルフェアで、雑誌2,150冊とその他絵本とを合わせ約2,500冊を還元する。また、ハロウィンフェアの季節に合わせてハロウィングッズを作るキッズ向けのイベント、大人向けのメガネケースとブックカバーの制作も楽しんでもらう計画である。

閉館の18時に合わせて、アカペラグループのカルテット男子を招きアカペラライブを計画している。永田萌先生にブックマークコンテストの審査員になっていただき、作品展を10月25日と26日に行う。オーディエンス賞を予定しているので、教育委員の方々も一票を投じてもらいたい。また、中学生からの読書郵便も合わせて実施する。

加西ミュージアムの初日が10月5日になる。永田萌先生の原画展のオープニングと合わせた講演会を10月5日13時30分からアステアかさい3階の交流プラザで行うと報告する。

教育委員より、中学生の読書郵便について質問がある。図書館長より、中学生からこの本を紹介したいという本の紹介文書を提出してもらい、それを掲示板に掲げ、その下に該当する本を展示するものである。自分の好きな本の紹介をしてもらい、気軽に書いてもらえる中学生から見た本の紹介であると報告する。

教育委員より、オーディエンス賞について質問がある。図書館長より、応募のあった作品をすべて展示し、来館者に良いと思った作品に幼稚園以下の部、小学校低学年の部、高学年の部、中学生の部それぞれに一票を投じてもらい、永田萌先生に審査時の参考にしてもらう。永田萌先生の選ぶ賞と、オーディエンス賞ということで来館者の投票で人気の高かった作品について表彰をするものであると説明する。

教育委員より、応募数について質問がある。図書館長より、4年ぶりであり、前回は5～600件ほどあったが今年はわからない。応募用紙は、市内の幼稚園から中学校まで配布してであると回答する。

教育委員より、選ばれた作品はどのように活用するのかとの質問がある。図書館長より、作品は、図書館で実際のブックマークとして作成し、図書館で配布すると回答する。

教育委員より、図書館の職員数が事業内容に比べて少ないと思うとの意見がある。

(7) 総合教育センター所長の報告

総合教育センター所長より、研修講座の中間まとめについて報告する。今年度、20コー

ス、40講座の研修を開設し、8月31日現在27講座が終了した。参加者数の多かった講座は、教師力向上研修59名、アレルギー対応研修49名、特別支援研修40名であった。受講者合計558名で昨年度同時期と比較して167名の増である。

講座アンケートの結果について、5段階評価で評価基準を設け、昨年度平均4.56から今年は4.63に満足度が高くなっている。

これまでの研修講座の成果と課題については次のとおりである。

成果については、①昨年度より多くの受講者があり、満足度も高い講座を実施することが出来た。②実践に基づいた具体的内容や事例が受講者には分かりやすく、今後の教育活動に即実践できるのとして期待でき、大変有効であったと考えられる。③市内の教員が講師を務めた講座については、なごやかな雰囲気に参加でき、教師としての生き様が大変参考になったという感想が聞けた。④一般企業等、他業種の方を講師に迎えた講座では、違った視点からの話が「人を育てる」ことに共通することも多くあり、有意義な講座となった。

課題については、①できるだけ多くの教職員が受講できるよう、講座開設時期等の見直し。②原則1時間30分で開催している講座時間を内容や受講者のニーズ等を考慮して時間を設定する。③ICT講座は、タブレット等具体物を一人1台使って研修をする必要があると報告する。

教育委員より、ICT講座では、タブレットを使用しなかったのかとの質問があり、総合教育センター所長より、小学校で講座を実施したため、受講者数分のタブレットが足りなかった。今後、一人1台使用できるようにタブレットの数を増やしていくことを検討していると回答する。さらに教育委員より、個人所有のタブレットを持参しての参加は難しいのかとの質問があり、総合教育センター所長より、可能だとは思いますが、受講者全員が所有しているというのも難しいため今回は見送った。今後は、所有している教諭に借りる等の方法を検討したいと回答する。

教育委員より、改善してほしい点に、冷房がよく効いて涼しかったがもう少しエコでもよいのではないかと、との意見があるがどうということかとの質問があり、総合教育センター所長より、体感温度に個人差があるため、暑いと感じる方と寒いと感じる方があり、受講者全員には満足してもらうのは難しかったと回答する。

教育委員より、課題の中で、内容やニーズにより講座時間を考慮してほしいとあるが、長いほうがよいのか、短いほうがよいのかとの質問があり、総合教育センター所長より、図工や理科、音楽のように、実技を伴う研修は、時間の設定を長く希望される。また、2講座を連続して実施する日は、3時間になり少し長いとの意見がある。そのような点を考慮し、2時間設定にする等考えたい。1日に2講座は受講しやすいが、受講された方は少し疲れるとの課題もあるので見直したいと回答する。

教育委員より、様々な分野の講座があり、希望者が参加する講座や、必修で受講する講座

があるが、市内の全教諭は少なくとも1つは何らかの講座を受講しているのかとの質問があり、総合教育センター所長より、一人1講座以上は受講してもらっていると回答する。

11. 協議事項

教育委員より、9月議会での一般質問についての質問があり、教育長より次のとおり説明する。

①「がん教育」について、

文科省は、がんの予防や早期発見、治療、患者への接し方等、学校教育における基本方針を進め、2016年度に改訂を目指す学習指導要領に盛り込む予定である。現学習指導要領においても、がんを含む病気の予防や健康教育が位置づけられている。市内の各校では、児童生徒の発達段階に応じた方法により、がんやがん患者についての正しい理解と認識、命の大切さについての理解の深化を図っている旨を答弁した。

②「平成25年度教育委員会点検評価」について、

「達成度の考え方」「平成26年度全国学力・学習状況調査での教科についての状況」「スマートフォン・携帯電話の保有率」「スマートフォン・携帯電話でのいじめ」「『育てる』観点からの研修講座」についての質問があった。

そして、「達成度の考え方」については、マトリクス表の説明をするとともに、「成果」「難易度」について注釈を分かりやすく表示する。また、点検評価の最初のページにある「実践項目一覧表」にも「達成度」を表示するなどして、さらに改善していく旨を答弁した。

また、「平成26年度全国学力・学習状況調査での教科についての状況」については、加西市の小学校6年生の教科に関する状況は、国語の知識（A）問題に課題があるものの、その他については全国と同程度。中学校3年生については、国語・数学の知識（A）・活用（B）ともに、全国平均を上回っている旨を説明した。

次に、「スマートフォン・携帯電話の保有率」及び「スマートフォン・携帯電話でのいじめ」については、加西市の小学校6年生のスマートフォン・携帯電話保有率は、41%（全国平均54%）。加西市の中学校3年生は64%（全国平均77%）。また、スマートフォン・携帯電話でのいじめについては、昨年度、本年度ともに、報告はないが全国的には増加している。スマートフォン・携帯電話の使用方法、マナー等の指導が重要である旨を説明した。

最後に、「『育てる』観点からの研修講座」については、教育において「教える」に加え「育てる」という観点は重要であり、研修講座においては、「子どもたちを育てる」「教職員を育てる」という観点からの「講座内容」「研修方法」の工夫に取り組んでいる。「講座内容」では、「自ら学び、自ら考える子どもたち」を育てるために、興味関心を持ち、主体的に学ぶ子どもたちを育てるための手立て等などを身につけ、指導力を高める講座を実施している。「研

修方法」では、講師から知識を得るに留まらず、教職員どうしが主体的に学び合える場になるよう「参加型研修」を取り入れている。また、参加者一人ひとりに「気づき」が生まれるよう「事例研修」「現地研修」等を実施している旨を答弁したと説明する。

12. 教育委員の提案

教育委員より、教諭の長期派遣研修について、兵庫教育大学に派遣された現職の教諭の方が総合教育センター主催の研修で講師を務められている。県下で毎年50名程度派遣のための予算措置もある。この研修制度を利用して、モデルになる教諭を育てていただきたい。また、派遣された教諭の人数と派遣から帰ってきた後、どのような成果をあげられたかデータはあるのかとの質問があり、学校教育課長より、現職では、過去10年間で5名が研修経験者である。兵庫教育大学に長期派遣研修に行った教諭は、一昨年より研修が終了すれば、総合教育センターでの研修等の講師を務めてもらっていると回答する。教育次長より、教職員の研修制度への意識は高い。教職大学院にはいろいろなコースがあり、そこで身に付けたことを主に学校で還元してもらっている。また、研修講座の講師等も務めてもらっている。また、兵庫県の派遣事業ではあるが、特別支援教育の分野でも、毎年ではないが希望者を派遣していると説明する。

教育委員より、自治体により、派遣研修に参加する教職員は希望者であったり、市が指名して派遣されたり様々である。派遣研修に参加する教諭には、引き続き高い意識を持って、研修終了後は活躍していただきたいと要望がある。

教育長より、学ぶことも目的だが、学んだことをどう生かすかを目的として学びに行く。教職員には研修終了後、成果を生かしてほしいと説明する。

教育委員より、保護者からの意見であるが、夕方下校時の見守りを、毎日決まった時間・場所とするのではなく、ランダムに場所や時間を変えて行ってほしい。また、交通量の観点から横断歩道のあたりは、先生によく立っていただいているが、連れ去りが発生しやすい、もっと寂しい場所に立ってほしい。中学生は最終下校時間があり、学校を決まった時間に出ているが、途中で道草をして帰るのが遅くなる。学校でも指導してほしいとの要望があり、総合教育センター所長より、児童生徒の安全安心の取組として、登下校指導の徹底、巡回パトロールの強化、ワッシュョイスクール、子ども見守り隊、子ども110番の家への協力依頼、PTAとの連携を行っている。特に登下校時に不審者情報が多い。夕方、途中までは複数で下校するが、最終的には1人になってしまう。再度、通学路を通っているのか、寂しいところを通っているのか、連れ去りの可能性のある場所はないか確認したい。また、複数で登下校する、不審者に遭ったときには大声を出す、すぐ逃げる、周りの家に駆けこむ等、防犯安全教育指導の徹底をしたい。総合教育センターにおいては、補導委員、健全育成会、連合PTA、警察等関係団体と連携して対応している。街頭パトロールの強化、特に午後2時から

6時の時間帯に連れ去りが多いので、この時間帯にパトロールの強化をお願いしている。情報の共有が重要であるので、県警防犯ネットにたくさん登録していただき、関係機関との連携を強化したいと回答する。

教育委員より、現在行っている安全対策をアピールしてほしい。このような対策をしていることが分かれば保護者の方も安心するとの意見がある。

教育委員より、スマートフォンの使用時間について、他の自治体では、生徒会が中心になって使用時間を決めたりしているが、加西市ではそういった取組はないのかとの質問があり、総合教育センター所長より、携帯・スマートフォンの使用時間について、所持率、使用時間等実態調査を行い、児童生徒自ら使用のルールを作ってもらうことを検討しており、現在はアンケートを作成中であると回答する。

教育委員より、防犯教育の中で、防犯ブザーの使い方、大きな声の出し方等、子ども達が実際に体験して学ぶような授業が学校ではあるのかとの質問があり、総合教育センター所長より、ホームルームの時間、道徳の時間等に、実際の場面を想定して具体的にどう動くのかをわかりやすく教えていると回答する。

教育委員より、子どもは話を聞くだけの受け身だけではなかなか理解しにくい。実際に防犯ブザーを鳴らしてみたり、大きな声を出したりして、交通安全教室のように模擬体験をすることが大事であるとの意見があり、総合教育センター所長より、必要なことなので指導していきたいと回答する。

教育委員より、交通安全の面から、これから中学生は暗くなってから下校する時期になる。蛍光タスキを義務づける計画はないのかとの質問があり、学校教育課長より、以前は蛍光タスキを着けるよう指導をしていたが、毎日全員がきちんとできるかという点と難しく、体操服の襟もとや脇、バックに蛍光のラベルを使用しており、効果があると考えていると回答する。

教育委員より、夜、真っ暗なところでは見にくいと思うときがあるとの意見があり、学校教育課長より、最近は自転車も安全面から、テールランプや反射板がついており、年1回自転車の点検も行い指導しているが、再度、各学校長と確認しながらより安全になるよう検討したいと回答する。

13. 今後の予定について

- ・平成26年第10回定例教育委員会 10月28日（火）14:30～ 市役所1階多目的ホール
- ・平成26年第11回定例教育委員会 11月25日（火）14:00～ 市役所5階大会議室

この会議録は、事務局職員が作成したものであるが、真正であることを認めここに署名する。

平成 26 年 9 月 30 日

出席委員

(出席委員署名)